

問題

下記の文章を参考にして、日本の豊かな海を活用し、今後世界とどのように関わっていくべきか、あなたの考えとその理由を 600 字以内で述べなさい。

日本は周囲を海に囲まれた小さな島国だが、領海に加えて経済的な^{けいぎてき}権益を持つ「排他的^{はいたてき}経済水域」も含めると、実に 447 万平方キロメートルにもおよぶ広大な海を持っている。これは世界第 6 位の広さだ。

陸地面積が 37 万 7,930 平方キロメートルで世界 61 番目であることを考えれば、日本の海は^{とほう}途方もない広さといえるだろう。日本よりはるかに広く、13 億人の人口を抱える中国の海はといえば、日本の 5 分の 1 ほどの 189 万平方キロメートルしかない。

日本の海が国土よりはるかに大きいのは、日本が 6,852 の島から構成されているためだ。とくに大きく関係しているのが小笠原^{おがさわらしょとう}諸島、沖ノ^{おきのとりしま}島、南^{みなみとりしま}島、大東^{だいとうしよとう}諸島など陸から遠い^{ことう}絶海の孤島だ。

日本の海はただ広いだけではない。日本は国土も^{きかく}起伏に富んでいるが、^{ちかく}地殻を動かすプレートが 4 つも集まる場所であることも^{なまじ}無縁ではない。プレートの沈み込みで日本はフォッサマグナでへし曲がり、弓のような形状となった。4 つのプレートは海から湧き上がって日本の近海で沈み込み、深さが 8,000 メートルを越える^{かいこう}海溝や、6,000 メートル前後のトラフ^{かいぼん}（海盆）となっている。

深い海があるということは、その分、海水量が多いということだ。実際、日本の海は全体の 6 割以上が水深 3,000 メートル以上。日本の海を海水の体積で見ると世界 4 位となる。つまり、日本はまぎれもない海洋大国なのだ。

表 1 世界の排他的経済水域面積

順位	国名	面積(1万km ²)
1	アメリカ	762
2	オーストラリア	701
3	インドネシア	541
4	ニュージーランド	483
5	カナダ	470
6	日本	447
参考	旧ソ連	449

※1972 年アメリカ国務省資料による。ただし、日本は 1996 年の海上保安庁調査による。旧ソ連データは、すでに独立したバルト海、黒海、カスピ海沿岸国および、その他すべての実効支配をしている広大な地域を含むため参考とした。

表 2 国別海水体積

順位	国名	体積(100万km ³)
1	アメリカ	33.8
2	オーストラリア	18.2
3	キリバス	16.4
4	日本	15.8
5	インドネシア	12.7
6	チリ	12.5
7	ミクロネシア	11.7
8	ニュージーランド	11.4
9	フィリピン	10.7
10	ブラジル	10.5

出典：海洋政策研究財団（概算からの推定）

広大な日本の海には、魚介類ぎょかいりゆうなどの水産資源が豊富だ。これには浅い大陸棚たいりくだながあるかと思えば、海溝かいこうのような深い場所があるなど、起伏に富んだ海底の形状も大いに影響している。その海にはいくつかの川が注ぎ、栄養分をもたらす。

また、太平洋側にはフィリピン付近から流れる暖流の黒潮と、オホーツク海から下ってくる寒流・親潮といった大きな海流があり、黒潮は分岐ぶんぎして日本海へ流れて対馬海流つしまかいりゆうとなる。日本海側には間宮海峡まみやうかいきやうから南下する寒流のリマン海流が流れる。

どの海流も魚介類を日本の海に運んでくる。そのため、日本の海は世界一の種の宝庫といわれ、世界中の海洋生物のうち14.6%、33,629種類が確認されている。

日本の海が豊かなのは水産資源だけではない。実は手つかずのエネルギー資源や鉱物なども海底に眠っているのだ。調査では尖閣諸島せんかくしよとう近辺には大量の原油があることも分かっている。加えて、海水そのものも資源の宝庫だ。人体に必要な塩を構成するナトリウムはもちろん、ほかにもたくさんの元素が含まれており、海水からこれらの物質を採取する技術の研究も進められている。

しかも、海水は地球を2,000年かけて周回しており、海水に含まれている物質は無尽蔵むじんぞうに供給されるのと同じだ。世界4位の海を持つ日本にとって、海水や海底の資源を利用することができれば、エネルギー資源や鉱物を全面的な輸入たよに頼る時代が終わり、逆に輸出大国になることすらできる可能性を秘めているのだ。

(洋泉社MOOK 「日本は天然資源で復活する」による)